

◎漁業資源の科学的調査に関する日本国政府と大韓民国政府との間の交換公文

(略称) 韓国との漁業資源調査取極

昭和四十二年四月二十八日 ソウルで
昭和四十二年四月二十八日 効力発生
昭和四十二年五月十六日 告示

(外務省告示第七七号)

目次

ページ

韓国側書簡 二五三

漁業資源の科学的調査 二五三

日本側書簡 二五八

韓国との漁業資源調査取極

二五一

(漁業資源の科学的調査に関する大韓民国政府との間の
交換公文)

(大韓民国側書簡)

(訳文)

書簡をもつて啓上いたします。本長官は、大韓民国と日本国との間の漁業に関する協定第六条に定める韓日漁業共同委員会の第一回定例年次会議において千九百六十六年七月九日に採択された漁業資源の科学的調査に関する勧告に言及し、両国政府が同勧告に基づき次のとおり決定することを提案する光榮を有します。

両国が共通の関心を有する水域における漁業資源の研究のため行なう科学的調査は次のとおりとする。

I 調査研究課題

共同資源調査の調査研究課題は次のとおりとする。

1 系統群及び生活史に関する調査研究

제 1 부 의 관

외빈호 74.1.73-404

1967. 4. 28.

각하,

본인은, 대한민국과 일본국간의 어업에 관한 협정 제 6 조에 규정된 연.일 어업 공동 위원회의 제 1 차 정기 연차회의에서 1966년 7월 9일에 채택된 어업 자원이 과학적 조사에 관한 권고에 응하여, 양국 정부는 본 권고에 의거하여 다음과 같이 결정할 것을 제안하는 영령을 가합니다.

양국의 공동의 관심은 것은 수역에서의 어업자원의 연구를 위하여 행하는 과학적 조사는 다음과 같다.

I. 조사 연구 과제

공동 자원 조사의 조사 연구 과제를 다음과 같이 한다.

1. 계통군 및 생활사에 관한 조사연구

2 資源動態に関する調査研究

3 環境に関する調査研究

Ⅱ 調査項目

前記の調査研究課題を達成するため、次の調査を行なう。

浮 魚

1 マアジ

- (1) 単位努力あたり漁獲量に関する調査
- (2) 魚体調査
- (3) 年齢組成調査
- ※ (4) 標識放流調査
- (5) 卵稚仔調査
- (6) 環境調査

2 マサバ

2. 자원농해에 관한 조사연구

3. 환경에 관한 조사연구

II. 조사 항목

전기의 조사연구 목적을 달성하기 위하여, 다음 조사를 행한다.

부 어

1. 전경어

- (1) 반야노루방 어획량의 관한 조사
- (2) 이체조사
- (3) 인형 조상 조사
- * (4) 표지 방류 조사
- (5) 알치자 조사
- (6) 환경 조사

2. 꼬등어

3 ゴマサバ	(1)	単位努力あたり漁獲量に関する調査
	(2)	魚体調査
	(3)	年齢組成調査
	(4)	標識放流調査
	(5)	卵稚仔調査
	(6)	環境調査
4 キグチ	(1)	単位努力あたり漁獲量に関する調査
	(2)	魚体調査
	(3)	年齢組成調査
	(4)	標識放流調査
	(5)	卵稚仔調査
	(6)	環境調査

3. 점 고등어	(1)	단위노력당 어획량에 관한 조사
	(2)	어체조사
	(3)	연령 조성 조사
	(4)	표지 방류 조사
	(5)	란치자 조사
	(6)	환경 조사
4. 참조기	(1)	단위노력당 어획량에 관한 조사
	(2)	어체 조사
	(3)	연령 조성 조사
	(4)	표지 방류 조사
	(5)	란치자 조사
	(6)	환경 조사

(3) 年 齡 組 成 調 査

※ (4) 標 識 放 流 調 査

(5) 卵 稚 仔 調 査

(6) 環 境 調 査

5 シ ロ グ チ

(1) 単 位 努 力 あ た り 漁 獲 量 に 関 す る 調 査

(2) 魚 体 調 査

(3) 年 齡 組 成 調 査

※ (4) 標 識 放 流 調 査

(5) 卵 稚 仔 調 査

(6) 環 境 調 査

6 タ チ ウ オ

(1) 単 位 努 力 あ た り 漁 獲 量 に 関 す る 調 査

(2) 魚 体 調 査

(3) 年 齡 組 成 調 査

※ (4) 標 識 放 流 調 査

(5) 卵 稚 仔 調 査

(1) 인명 조경 조사

* (4) 표지 밭류 조사

(5) 밭치자 조사

(6) 환경 조사

5. 보구채

(1) 단위노획당 어획량의 관한 조사

(2) 어채 조사

(3) 인명 조경 조사

* (4) 표지 밭류 조사

(5) 밭치자 조사

(6) 환경 조사

6. 팔채

(1) 단위노획당 어획량의 관한 조사

(2) 어채 조사

(3) 인명 조경 조사

* (4) 표지 밭류 조사

(5) 밭치자 조사

(6) 環境調査

7
マダイ

(1) 単位努力あたり漁獲量に関する調査

(2) 魚体調査

(3) 年齢組成調査

(4) 標識放流調査

※ (5) 卵稚仔調査

(6) 環境調査

8
ハモ

(1) 単位努力あたり漁獲量に関する調査

※ (2) 魚体調査

(3) 年齢組成調査

※ (4) 標識放流調査

※ (5) 卵稚仔調査

(6) 環境調査

9
コウライエビ

(1) 単位努力あたり漁獲量に関する調査

(6) 환경 조사

7. 참돔

(1) 민어노획량 어획량에 관한 조사

(2) 어체 조사

(3) 연령 조성 조사

(4) 표지 방류 조사

* (5) 번치자 조사

(6) 환경 조사

8. 고령어

(1) 민어노획량 어획량에 관한 조사

* (2) 어체 조사

(3) 연령 조성 조사

* (4) 표지 방류 조사

* (5) 번치자 조사

(6) 환경 조사

9. 바하

(1) 민어노획량 어획량에 관한 조사

- (2) 魚体調査
- (3) 標識放流調査
- (4) 環境調査

備考 ※印の項目については、技術的問題の確立に努力し、方法が解決されたときに実施に移すものとする。

本長官は、さらに、この書簡及び前記の提案に日本国政府に代わつて同意される閣下の返簡を、閣下の返簡の日付の日に効力を生ずる両国政府間の合意を構成するものとみなすことを提案する光栄を有します。

本長官は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百六十七年四月二十八日

大韓民国國務總理兼外務部長官 丁一權

日本国特命全權大使 木村四郎七閣下

日本側書簡

(日本側書簡)

書簡をもつて啓上いたします。本使は、千九百六十七年四月二十八日付けの閣下の次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

- (2) 이체 조사
- (3) 표지 방류 조사
- (4) 환경 조사

비고: * 표지 항목에 관하여는 기술적 단계의 해결이 노후하고, 방류가 해결되었을 때 실시한다.

본인은, 또한, 이 자한 피자의 제안에 일본국 정부를 대신하여 동의하는 구하의 회한을, 구하의 회한 일가에 효력을 발정하는 양국 정부간의 협의를 구상하는 것으로 간주할 것을 제안하는 의견을 가합니다. 본인은 구하에게 자포이 본인의 변함없는 경의를 표합니다.

장영권
후무 총리 겸 외무부장관

대한민국 주재 일본국 특명전권대사

기무하 시로시지리 가하

(大韓民国側書簡)

本使は、閣下の書簡に述べられた提案に日本国政府に代わつて同意し、さらに、閣下の書簡及びこの返簡を、この返簡の日付の日に効力を生ずる両国政府間の合意を構成するものとみなすことに同意する光栄を有します。

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向かつて敬意を表します。

千九百六十七年四月二十八日

日本国特命全權大使 木村四郎七

大韓民国 国務総理

兼外務部長官 丁一權閣下

(参考)

この取極は、韓国との漁業協定（昭和四十年二国間条約集参照）第五条の規定に基づき、共同資源調査水域等における調査の内容を定めるものである。